

新型コロナウイルス感染症治療薬 PA-001 の 非臨床試験完了と今後の予定に関して

ペプチエイド株式会社（代表取締役社長：舩屋圭一、本社：神奈川県川崎市、以下「ペプチエイド」）は、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発候補品PA-001に関して、非臨床試験が完了しましたのでお知らせいたします。

2020年春頃にペプチドリーム株式会社（以下、「ペプチドリーム」）の初期探索研究によって見出された特殊環状ペプチドに基づき、その後、国立感染症研究所との共同研究で化合物の評価を進めてまいりましたが、極めて高い抗ウイルス活性（既存薬であるレムデシビルとの比較試験において数千倍の活性）を有し、また感染モデル動物を用いたin vivo試験においても高い有効性を有する開発候補化合物の最適化・特定が完了し、開発候補品PA-001（開発コード）として、2021年3月より非臨床試験を開始し、今秋までの完了を目指す旨を発表しておりました。

開発候補品PA-001は、従来型のCOVID-19だけではなくアルファ株、ベータ株、ガンマ株、デルタ株の変異株（生ウイルス）に対して同様に高い抗ウイルス活性を有することを確認しております。また、現在緊急使用許可承認を得ている新型コロナウイルス感染症治療薬との併用において、in vitro試験での高い相乗効果を確認しております。

この度、各種一般毒性、安全性薬理、遺伝毒性試験等から構成されるPA-001の非臨床試験が予定通りのスケジュールで完了し、PA-001の高い安全性が確認されました。今後は、早期での導出可能性を見据えつつ、また臨床開発に要する期間を最適化する観点から、臨床研究法に基づく早期探索的臨床研究（以下、「臨床研究」）による臨床データ取得を優先的に実施いたします。2021年11月中には臨床研究の実施に必要となる臨床研究審査委員会（以下、「CRB」）への申請を完了し、2022年1月には臨床研究を開始できる見通しです。

【ペプチエイド株式会社 代表取締役 舩屋圭一 のコメント】

「約8か月という短い時間で、生ウイルスを用いた in vitro 試験や、in vivo 試験、さらに GLP 基準を満たす非臨床試験を完了できたことを大変喜んでおります。PA-001 は単剤でも新型コロナウイルス感染症に対して高い治療効果を期待しておりますが、既存薬と作用機序が異なるため、既存薬との併用療法にも期待しており、今回、緊急使用許可承認を取得した各種医薬品との併用効果が確認できたことは、治療選択肢や治療効果を高める上で重要な進展であったと考えております。一日も早く、患者さんに治療薬を届けられるように開発作業の加速を図っていきます。」

■ペプチエイド株式会社について■

ペプチエイド株式会社は、「新型コロナウイルス感染症に対して有効な治療薬を世界中の医療現場にいち早く届ける」という社会的意義に賛同したペプチドリーム・富士通・みずほキャピタル・竹中工務店・キシダ化学の5社が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬の開発を目的として2020年11月に設立した合併会社です。ペプチエイドは、治療薬の候補化合物についてペプチドリームから譲渡を受け、非臨床試験からヒトでの有用性確認（POC）に必要な前期の臨床試験までを最短で実施することを目指します。ペプチドリームが有するペプチド関連技術・ノウハウを活用することに加え、富士通が有する組合せ最適化問題を高速に解くアーキテクチャー「デジタルアニーラ」やHPC（高性能コンピューティング）等を活用することで研究開発スピードの加速を図っています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチエイド株式会社

Email: info@peptiaid.com